

**研究課題名：**造血器腫瘍における癌悪性化機構の解明

## 1. 研究の対象

2006年1月～当院で造血器腫瘍の診療を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

造血器腫瘍(成人T細胞性白血病・多発性骨髄腫等)は、いまだ難治性のもも多く、正確な病態の理解・画期的な治療法の開発が待たれている。これらの腫瘍は、がん幹細胞と言われる多能性・治療抵抗性細胞を中心として、腫瘍全体の多様な細胞集団(heterogeneity)を構築していると考えられているが、その分子機構には不明な点が多い。

本研究では、heterogeneityを最も保持している患者検体を用いて、これを維持する分子機構を明らかにし、腫瘍全体の増殖機構・浸潤機構・免疫系からの回避機構を明らかにすることを目的とする。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号

試料:末梢血・骨髄液・パラフィンブロック

## 4. 外部への試料・情報の提供

通常診療の必要に応じて採取された末梢血・骨髄液の余剰分を、当院での研究に使用あるいは共同研究機関に送付します。

共同研究機関への提供は、個人が識別できる情報を全て削除した状態で行われます。資料と個人情報との対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

(各組織における研究責任者)

宮城県立がんセンター研究所

浅野直喜 (代表研究者)

実験動物中央研究所	高橋武司
東北大学医学系研究科血液免疫病学分野	張替秀郎
琉球大学医学部大学院医学研究科免疫学分野	田中勇悦

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当  
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1  
TEL 022-384-3151（代表）（内線 974）

**研究責任者：**

宮城県立がんセンター研究所がん幹細胞研究部 浅野直喜

**研究代表者：**

宮城県立がんセンター研究所がん幹細胞研究部 浅野直喜